

地球温暖化防止のために

役場では、地球温暖化防止のための取り組みとして、平成22年4月から地球温暖化対策実行計画をスタートさせ、二酸化炭素量の削減に向けた活動を行ってきました。

取り組み内容

昨年「広報おのまち10月号」でお知らせしたとおり、役場全課、役場庁舎、公民館や体育館などの町施設、学校施設、幼児教育施設などにおいて使用する、電気や灯油、水道など、また車両に使用するガソリン、軽油などの使用量を減らし、二酸化炭素の排出を減らすことが目的です。

目標

基準年度（平成21年度）の二酸化炭素排出量128万2,572kg・CO₂に対し、計画期間の最終年度である平成26年度までに6%の削減を目標としています。

平成22年度の二酸化炭素排出量

平成22年度の二酸化炭素排出量は13万3,679kg・CO₂で、残念ながら2.4%の増加

となりました。

要因別の排出状況は、電気58.4%、灯油27.2%、A重油6.3%、ガソリン3.6%、その他4.5%です。

エネルギー使用量が減少したのは、LPガス、灯油、A重油の部門です。一方、電気、ガソリン、軽油の部門が増加、全体的に二酸化炭素排出量の増加につながりました。

増加の原因としては、町が行う新たな事業によるエネルギー使用量の増、東日本大震災による電気、灯油などの使用量の増が挙げられます。

今後、二酸化炭素を減らすため、事業の検討および改善、職員が日常気を付けることなどをチェックし、職員全員が一丸となって取り組んでいきます。

削減の主な取り組み内容

●施設を新築、改築する場合、環境負荷の低減に配慮した施設整備を行い、太陽光発電、

断熱性能に優れた建設資材などの導入、高効率照明へ切り替え。

●公用車の購入時に小型車、低燃費車、ハイブリッドカーなどを導入。

●事務用品は、詰め替えやリサイクルが可能なものを購入。

●昼休みの消灯、不必要個所の消灯の徹底。

●ノー残業デーの実施。

●効果的・計画的な事務処理を心掛け、夜間残業の低減を図り、照明灯やOA機器などの使用時間削減に努める。

●無駄なアイドリングを控え、エコドライブを心掛ける。

●日常の節水に心掛け、自動水栓、節水コマなどの導入に努める。

●両面コピー、裏面コピーを徹底し、用紙削減に努める。

●物品の再利用、修理による長期利用に努める。

●ごみの減量化、分別の徹底に努める。

あとがき

左の写真は先崎ツナさん(吉野辺)のお宅の百日草。先崎さんが20年近くかけて育てたそうで、ピンクやオレンジのかわいい花が数十メートルにもわたって咲いていました。

ちなみに百日草の花言葉は「別れた友への思い」「絆」。なんだか今の日本が頭に浮かんできました。身近な友だからからこそ、ふだんはなかなか言えませんが、言えなくなってしまう前に感謝の気持ちや思いを伝えておきたいですね。そしてずっと大切にしていきたいものです。(か)

